

はんなんTV(第8回 0917) 台本

コーナー名	
コーナー① <「マスターズCafe & 阪南市SOSネットワーク」-約13分->	
<p>12:00 (結果) 12:00-13:12</p> <p>出演) ・森下(司会) ・石川(ナビゲーター) ・大宅 (介護保険課) ・森 (介護保険課)</p> <p>(準備するもの) QRコードのシール1シート</p>	<p>(森下) : みなさんこんにちは。 「阪南TV(はんなんティービー)」の時間やってまいりました。 この番組の司会、FC大阪の石塚さんの代わりに務めます 阪南市秘書広報課の森下です。</p> <p>(石川) : そして、ナビゲーターを務めます、秘書広報課の石川 です。 どうぞ、よろしくお願いします。</p> <p style="text-align: center;"><拍手>(全員で拍手します)</p> <p>(森下) : この番組は、「阪南市役所 防災コミュニティセンター(阪南まもる館)」 から、生放送でお送りしています。</p> <p>(石川) : 本日のコンテンツは、</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">【フリップ】</p> <p>一つ目→ 1 マスターズCafe & 阪南市SOSネットワーク 二つ目→ 2 コミュニティソーシャルワーカー(CSW)にご相談ください。 三つ目→ 3 海洋教育について 四つ目→ 4 秋祭り! やぐらパレードのご案内について</p> <p>そして ★イベントのご案内★ ・9/23(祝・月) スポーツフェスタ開催します! ・第27回 KIX 泉州国際マラソン大会 エントリー受付中 ・10/17(木) 企業向け・阪南SDGs推進セミナーのご案内 です。</p> </div> <p>(森下) : 石川さん、今日も、阪南市の「魅力」、そこで、活躍する「ヒト」の魅力を お届けできそうですね。</p> <p>(石川) : はい。最後まで、どうぞお楽しみください。</p> <p>(森下) : それでは最初のコーナーのご紹介です。 健康部介護保険課の大宅(おおたく)さん、森さんにお越しいただいて います。 よろしくお願いします。</p>

(大宅・森)：どうぞ、よろしくお願いします。

<拍手> (全員で拍手します)

(森下)：今回の世界アルツハイマー月間の9月にちなんで、認知症に関する情報や事業をご紹介していただけるのですね。

(大宅)：はい。マスターズ Cafe、阪南市SOSネットワーク登録、さつきネットについてご説明いたします。

(森下)：この事業は、SDGs (エスディーゼズ) 17の目標のどれに結びついていますか。

(大宅)：はい、3番の「すべての人に健康と福祉を」、11番の「住み続けられるまちづくりを」の二つに当てはまります。

説明したいこと

(森下)：大宅さん、「マスターズ Cafe」とは、どういうカフェのことですか。

(大宅)：広報はんなり9月号でも紹介させていただきましたマスターズ Cafeですが、平成30年9月【認知症にやさしい図書館プロジェクト】から始まったカフェです。認知症当事者と介護者、支援者で運営していて、カフェのマスターは男性です。

(森下)：もう少し具体的に、説明していただけますか。

ロゴ を映しながら話す

(大宅)：単なるカフェではなくて、家族が認知症になった時に相談できる場所、悩みを聞いてくれる場所、同じ悩みを持つ人たちと出会える場所です。

(森下)：そうなんですね。場所はどちらですか？

(大宅)：サラダホールの入口のスペースです。
以前もカフェがあったのですが、今はリサイクルの本の販売場所になっています。

(森下)：どれくらいの頻度で開催されていますか？

出張販売の案内 を映しながら

(大宅)：毎週木曜日13時30分から15時まで開催しています。

ロゴ (A3サイズ)

出張販売 (A3) を
映しながら

(森下) : どれくらいお客さんは来られますか。

(大宅) : そうですね。テイクアウトを含めると平均 50 杯くらいは出ています。
お客さんとしては 30 人~40 人です。

(森下) : どのような方が来られますか？

(大宅) : 60 代~70 代の方が多いですが。子どもさんも来られますし、男性のお若い方も来てくださいます。
ここで一度、写真ですが、カフェの様子を見ていただきましょう。

画像 1 マスターズ Cafe1 適当に切り替える

画像 2 マスターズ Cafe2 画像を見ながら

(森下) : 本がたくさんあり、雰囲気もよいですね。

(大宅) : 自由に読めますのでお一人でこられて本を見ている方もおられます。
男性も多いですよ。

(森下) : そうなんですね。マスターが男性だと、男性の方が入りやすいのかな。

画像 3 パン出張販売

画像を見ながら

(大宅) : 市内就労支援事業所の出張販売もあります。

(森下) : それを買って、カフェで食べてもいいのですか？

(大宅) : はい、そうなんです。

画像 4 メンバー

画像を見ながら

(大宅) : この写真はマスターズ Cafe のメンバーです。

(森下) : みなさんステキな笑顔ですね。

(大宅) : そうなんです。ここでは認知症のある方、ない方、どなたでも集い合い、
楽しい時間を過ごせる場所になっています。

画像 5 サポーター

画像を見ながら

(大宅) : この写真は第 4 週目のサポーターさんで介護者家族の会の有志のメンバー

です。毎週違うメンバーがサポーターになり、コーヒーを入れてくださいます。

(石川)：たのしいですね。カフェの雰囲気もいいですし、楽しいひとときを過ごせそうですね。

(大宅)：またみなさんもよろしかったら一度お立ち寄りください。

(石川)：はい、是非行ってみたいです。

今日は、この他にも認知症に関する介護保険課の事業をご紹介してくれるそうですね。森さんよろしくお願いします。

(森)：はい、認知症のある方が道に迷って帰れなくなったりすることがありますが、そういう方にあらかじめ、登録をしていただき、検索をスムーズにできるサービスを行っています。

「認知症高齢者等SOSネットワーク登録」という事業です。

(森下)： どういう手続きが必要ですか。

SOS ネットワーク
流れ (A3)

阪南市 SOS ネットワーク流れ を映しながら

(森)：対象者の方の顔写真と書類の提出です。要介護認定を受けておられる方が対象です。

登録しますと、衣服や靴に貼れますQRコードのシールをお渡しできます。もし、行方不明になった場合も登録をしておきますと警察に検索願いを届けた後に、FAXであらかじめいただいた情報を関係機関に流すことができます。

(森下)：緊急に迅速な対応が出来るということなんですね。

(森)：そうです。検索の目を増やすことができるので、少しでも早く安全に発見できるような対策です。

QR コードのシール
シートを渡す

(森下)：QRコードのシールとはどういうものですか。

実際に見てもらう。

(森下)：衣類や靴などに、どのようにつけるのですか

(森)：ドライヤーなどで熱をあてますと、くっつくようになっています。

(石川)：何人くらい登録していますか。

(森)：72人いらっしゃいます。

(森下)：そうなんですね。意外と少ない？

(森)：はい、自宅に帰れなくなってしまう可能性がある方は、ぜひ登録をしてください。介護保険課の窓口で受け付けています。

それから、この事業と関係がある「さつきネット」を紹介させていただきます。

「さつきネット」とは、阪南市認知症高齢者等SOSメール配信システムと言いまして、メール登録をしていただくものです。

(森下)：どのようなものですか。

(森)：「さつきネット」は、認知症高齢者等SOSメール配信システムです。例えば、認知症のある方が道に迷って帰れなくなったときに、情報がメールで配信されます。登録していただいた方には、検索の目になっていただくということです。

(森下)：そうなんですね。迷われている方の情報が、メールで携帯電話などに流れてくるというシステム。それは、どなたでも登録できますか。

(森)：はい。「検索にご協力いただける方が、たくさんいらっしゃる、多ければ多いほど発見しやすい。」ということです。

(森下)：現在、どのくらいの登録者がいるのですか？

(森)：60人くらいです。まだ少ないので是非登録していただければと思います。登録方法につきましては、市ウェブサイトで「さつきネット」と検索してください。各課のご案内から介護保険課、地域支援事業へ進んでいただくこともできます。介護保険課にもチラシを置いてありますので、お気軽にお声がけください。

(石川)：メール登録するだけなら簡単ですね。

認知症のある方の見守りの目となることで、行方不明になった方の安全が守られるのですね。

(森)：そうなんです。みなさんに知っていただき、登録してくださる方をもっともっと増やしていきたいです。

(森下)：これを機に、メールを登録してくださる方が増えると良いですね。

	<p>(森)：はい。</p> <p>(森下)：介護保険課から、マスターズ Cafe、阪南市SOSネットワーク登録、そして、さつきネットについて、ご紹介いただきました。 大宅さん、森さん、ありがとうございました。</p> <p>(大宅、森)：ありがとうございました。 <拍手> (全員で拍手します)</p>
--	--

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（全編） 1分30秒」（添付）

(<https://www.youtube.com/watch?v=I2UY8IVziLw&t=15s>)

コーナー名	
コーナー②＜「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）にご相談ください。」 -約11分-＞	
<p>12:14 出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森下（司会） ・石川（ナビゲーター） ・御坊谷（市民福祉課） ・安居（阪南市社会福祉協議会） ・春山（玉田山荘） <p>（準備するもの）</p> <p style="background-color: #90ee90;">救急キット</p> <p style="background-color: #90ee90;">施設の地図 A3</p>	<p>（森下）：続いてのコーナーは、「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）にご相談ください。」です。</p> <p>市民福祉課の御坊谷（ごぼうたに）さん、阪南市社会福祉協議会の安居（やすい）さん、玉田山荘（たまだやまそう）コミュニティソーシャルワーカーの春山（はるやま）さんにお越しいただいています。</p> <p>よろしく申し上げます。</p> <p>（出演者3人）：（3人で）どうぞ、よろしく申し上げます。</p> <p style="text-align: center; background-color: #ffff00;">＜拍手＞（全員で拍手します）</p> <p>（石川）：今日は、「コミュニティソーシャルワーカー（CSW）」さんの役割や、災害時要援護者「くらしの安心ダイヤル事業」について詳しく伺ってみたいと思います。</p> <p><u>早速ですが、この事業は、SDGs（エスディーゼズ）17の目標のどれに結びついていますか。</u></p> <p>（御坊谷）：コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の事業は、SDGsの17ゴールのうち、<u>1番「貧困をなくそう」、2番「飢餓をゼロに」、3番「すべての人に健康と福祉を」、17番「パートナーシップで目標を達成しよう」</u>に該当します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">説明したいこと</p> <p>（森下）：この事業は、いつから、どのように実施しているのですか。</p> <p>（御坊谷）：阪南市では、平成17年度から、地域の福祉総合相談事業として、いきいきネット相談支援センターに、コミュニティソーシャルワーカー(CSW)を配置しています。</p> <p>コミュニティソーシャルワーカーは、略してCSWと呼ばれおり、「地域の身近な福祉の何でも相談員」です。（以後「CSW」と呼びます。）年齢など関係なく、子どもから高齢者の方まで、暮らしの中の困ったことや気になることを相談していただければ、ありがたいです。</p> <p>こんな事どこに相談したら良いのかな？と困れば、とりあえず、地域のCSWにご相談ください。</p> <p>私の隣に座っています安居さんは、CSWの相談活動をサポートする、基幹的な役割として、阪南市社会福祉協議会において、「相談丸ごとネ</p> </div>

ットワーク推進員」をしています。

(森下)：基幹的とは、どのような役割をされているのですか？

(安居)：最近よく言われている、「ゴミの多い家屋」や「ひきこもり」などの困りごとを、各地区担当のCSW1人では解決できない課題が多くなっています。そのため、行政や様々な機関と連携しながら、解決に向けてネットワークを作ったりするのが役割です。

(森下)：そうなんですね。ところで、CSWさんは、阪南市内のどちらにいらっしゃいますか。

(安居)：CSWは、阪南市を4つの地域に分け、地域ごとに1人ずつ配置されています。

(森下)：安居さん、4人のCSWさんをご紹介しますか。

(安居)：はい。それでは、阪南市の4人のCSWをご紹介します。

(安居)：一人目は、尾崎・上荘・福島地区担当の北田さんです。
北田さんは、下出にあるライフケア尾崎というケアハウスの施設所属の方です。

画像 1 北田氏 適当に切り替える

画像 2 ライフケア尾崎

地図 を映しながら話す

ライフケア尾崎の場所は、府道204号線（旧26号線）を岬町から泉南市方面へ向かって頂きますと左手にスーパーが見えてきます。
スーパーとファミリーレストランの間の道を左折し700メートルほど直進しますと、左手に薬局、右手に障がい者福祉施設の名称が書かれている看板が見えますので、右折してもらいますと、突き当りの茶色いタイル張りの建物です。

画像 2 ライフケア尾崎 再度映す

(安居)：二人目は、西鳥取・舞地区担当の蓑谷さんです。
蓑谷さんは、貝掛にあるピープルハウス阪南という特別養護老人ホームの施設所属の方です。

画像 3 蓑谷氏 適当に切り替える

画像 4 ピープルハウス阪南

地図 を映しながら話す

ピープルハウス阪南の場所は、南海鳥取ノ荘駅から駅前のマンションを海側に下り、海岸線通りを和歌山方面、左に進みますと、左手の茶色い建物です。

地図 A3 サイズ

地図 A3 サイズ

<p>地図 A3 サイズ</p>	<p>画像 4 ピープルハウス阪南 再度映す</p> <p>(安居)：三人目は、下荘・桃の木台・箱作地区担当の宇賀（うか）さんです。 宇賀さんは、箱作にあるメデケアタマイという介護老人保健施設の所属の方です。</p> <p>画像 5 宇賀氏 適当に切り替える</p> <p>画像 6 メデケアタマイ</p> <p>地図 を映しながら話す</p> <p>メデケアタマイの場所は、南海箱作駅から府道 204 号線（旧 26 号線）を和歌山方面へ約 1.3Km、箱作海水浴場（ぴちぴちビーチ）入口近くにあります。</p> <p>画像 6 メデケアタマイ 再度映す</p>
<p>地図 A3 サイズ</p>	<p>春山さんを映しながら</p> <p>(安居)：四人目は、東鳥取・朝日・山中溪・波太地区担当の春山さんです。</p> <p>地図 を映しながら話す</p> <p>春山さんは、自然田にある玉田山荘という特別養護老人ホームの施設所属の方です。</p> <p>玉田山荘の場所は、老人福祉センターの手前にあります。</p> <p>画像 7 春山氏 （説明が短いので注意）</p> <p>画像 8 玉田山荘</p> <p>(森下)：ところで、CSWさんは、どのような相談を受けていらっしゃいますか。</p> <p>(春山)：はい。例えば、高齢者や障がいの方のサービスの相談があります。 特に、災害時の支援の必要な方の安否確認を行う「くらしの安心ダイヤル事業」についてのご相談が一番多いですね。</p> <p>画像 9 制度説明データ 開始</p> <p>(春山)：「くらしの安心ダイヤル事業」について説明します。 この制度は、おひとり暮らしや高齢者夫婦・障がいのある方がおられる世帯が、災害時など何かあった時に備えて“日頃からお近所のネットワークを組んでおこう”という制度で、阪南市役所と阪南市社会福祉協議会が、様々な関係機関の協力を得て実施しています。</p> <p>画像 9 制度説明データ 終了</p> <p>(春山)：登録していただくと、地区担当のCSWと担当の民生委員児童委員さんと一緒に、ご自宅を訪問し、救急キットをお渡し、ご本人の希望に応じた見守りや定期的な声かけ、災害時のみの声かけ等、その方の状態に合わせたご相談に応じています。</p>

画像 9 制度説明データ 再度流す

登録のランクは、A・B・Cの3つのランクがあります。
 (Aランク) 希望者・・・日常からの声かけや見守り
 (Bランク) 希望者・・・地域行事へのお誘い です。
 (Cランク) 全員共通・・・災害時などの声かけや安否確認

(森下)：そうなんですね。救急キットの中には、何が入っているのでしょうか。

救急キット**救急キット実物 を映しながら**

(春山)：救急キットの中には、日常の緊急時や災害時といった、いざという時のために、ご本人の緊急連絡先や、普段の服薬の内容など、緊急時に必要な情報を書いて入れています。
 救急キットは、ご家庭の冷蔵庫に入れていただいています。

(森下)：冷蔵庫の中で保管するのですか。

画像 11 冷蔵庫**画像を見ながら**

(春山)：なぜ冷蔵庫かといいますと、一般的には、各ご家庭の台所に冷蔵庫があるということと、冷蔵庫であれば、誰でも、すぐに見つけることができるからです。

画像 10 救急キット**画像を見ながら**

(春山)：冷蔵庫の扉に、阪南市のマークが入ったマグネットが貼ってあれば、「救急キットが入っています」とすぐにわかるよう、阪南市と消防署が申し合わせをしています。

画像 11 冷蔵庫 再度映す

救急要請した際に救急隊の方が冷蔵庫を確認し、冷蔵庫内の救急カードの内容で既往歴等を確認し、搬送先の調整の材料に用いています。

(森下)：そうだったんですね。

詳しいご説明ありがとうございました。日頃の備えが大切ですね。
 それでは、最後に一言お願いします。

(御坊谷)：はい。昨年の台風21号の時には、コミュニティソーシャルワーカーや地域のみなさんに、災害時要援護者安否確認にご協力をいただきました。人は困ったとき、1人だけで悩んでいると、行き詰まって、どうしたらいいかわからないことが、たくさんあるかと思います。
 そんなときは、一人で悩まずに、あなたの地域のCSWiに、ぜひご相談してください。これからのことを一緒に考えましょう。

	<p>(森下)：今日は、市民福祉課の御坊谷（ごぼうたに）さん、阪南市社会福祉協議会の安居（やすい）さん、玉田山荘（たまだやまそう）コミュニティソーシャルワーカーの春山（はるやま）さんにお話を伺いました。ありがとうございました。</p> <p>(出演者3人)：ありがとうございました。 <拍手> (全員で拍手します)</p>
--	---

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（子育て編） 52秒」（添付）

(<https://www.youtube.com/watch?v=96FMXC-BmTo>)

コーナー名				
コーナー③ <「海洋教育について」 -約10分->				
<p>12:27 (出演) ・森下(司会) ・石川(ナビゲーター) ・石原 (学校教育課)</p> <p>(準備するもの) 海を守り隊の 缶バッジ</p>	<p>(森下)：それでは次に、学校教育課からのお知らせです。</p> <p>(石川)：学校教育課といえば、「Let's チャレンジ生活改善!」。2回にわたり「子どもの生活改善」についてご紹介いただきました。今回は、話題をかえて「海洋教育」についてのお話です。</p> <p>(森下)：海洋教育を担当されている学校教育課の石原さん、お願いします。</p> <p>(石原)：よろしくお願いたします。</p> <p style="text-align: center;"><拍手>(全員で拍手します)</p>			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 5px;">説明したいこと</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p>(森下)：石原さん、海洋教育とはどのようなものですか。</p> <p>(石原)：はい。阪南市の学校では、これまでも海に近い学校を中心に、地域の海をテーマとした学習を行ってきました。</p> <p>(森下)：以前から海の学習に取り組まれてきたんですね。</p> <p>(石原)：はい。例えば大阪湾の生き物や地域の産業である漁港で働く人々について学んだりしています。</p> <p>画像1 海苔漉き(すき)体験 見ていただいている写真のように、海苔漉き体験をしたり</p> <p>画像2 ワカメの収穫 育てたワカメの収穫を行い、その収穫したワカメをつかって味噌汁をつくる調理実習をしたりもしています。</p> <p>画像3 アマモ場の再生活動 適当に切り替える</p> <p>画像3-2 アマモ また、阪南市の海には、様々な海の生き物の生息場所となる「アマモ場」があります。そのアマモ場の再生活動にも取り組んでいます。</p> <p>画像3 アマモ場の再生活動 終了</p> <p>(森下)：海をテーマに、様々な体験活動に取り組んでいるんですね。</p> <p>(石原)：そうなんです。海での体験活動を通じて、自分たちの身近に素晴らしい自然環境があることを知り、その環境をどのようにして守っていくかという</p> </td> </tr> </tbody> </table>		説明したいこと	<p>(森下)：石原さん、海洋教育とはどのようなものですか。</p> <p>(石原)：はい。阪南市の学校では、これまでも海に近い学校を中心に、地域の海をテーマとした学習を行ってきました。</p> <p>(森下)：以前から海の学習に取り組まれてきたんですね。</p> <p>(石原)：はい。例えば大阪湾の生き物や地域の産業である漁港で働く人々について学んだりしています。</p> <p>画像1 海苔漉き(すき)体験 見ていただいている写真のように、海苔漉き体験をしたり</p> <p>画像2 ワカメの収穫 育てたワカメの収穫を行い、その収穫したワカメをつかって味噌汁をつくる調理実習をしたりもしています。</p> <p>画像3 アマモ場の再生活動 適当に切り替える</p> <p>画像3-2 アマモ また、阪南市の海には、様々な海の生き物の生息場所となる「アマモ場」があります。そのアマモ場の再生活動にも取り組んでいます。</p> <p>画像3 アマモ場の再生活動 終了</p> <p>(森下)：海をテーマに、様々な体験活動に取り組んでいるんですね。</p> <p>(石原)：そうなんです。海での体験活動を通じて、自分たちの身近に素晴らしい自然環境があることを知り、その環境をどのようにして守っていくかという</p>
説明したいこと				
<p>(森下)：石原さん、海洋教育とはどのようなものですか。</p> <p>(石原)：はい。阪南市の学校では、これまでも海に近い学校を中心に、地域の海をテーマとした学習を行ってきました。</p> <p>(森下)：以前から海の学習に取り組まれてきたんですね。</p> <p>(石原)：はい。例えば大阪湾の生き物や地域の産業である漁港で働く人々について学んだりしています。</p> <p>画像1 海苔漉き(すき)体験 見ていただいている写真のように、海苔漉き体験をしたり</p> <p>画像2 ワカメの収穫 育てたワカメの収穫を行い、その収穫したワカメをつかって味噌汁をつくる調理実習をしたりもしています。</p> <p>画像3 アマモ場の再生活動 適当に切り替える</p> <p>画像3-2 アマモ また、阪南市の海には、様々な海の生き物の生息場所となる「アマモ場」があります。そのアマモ場の再生活動にも取り組んでいます。</p> <p>画像3 アマモ場の再生活動 終了</p> <p>(森下)：海をテーマに、様々な体験活動に取り組んでいるんですね。</p> <p>(石原)：そうなんです。海での体験活動を通じて、自分たちの身近に素晴らしい自然環境があることを知り、その環境をどのようにして守っていくかという</p>				

ことについても考えています。

画像4 海を守り隊イラスト 開始

(石原)：これは海を守り隊とって、小学校の子どもたちが考えたイラストです。
このように子どもたちが海を守るための活動を考え、行動しています。

画像4 海を守り隊イラスト 終了

282号のカード、缶バッジ実物（職員名札）を映す ※小さいので注意

(石原)：わたしも、このように海を守り隊第282号として入っています。
こんなカンバッジなどもつくられたんですよ。

(石川)：昨年の11月には、阪南市で「全国アマモサミット 2018in 阪南」が開催され、多くの人に参加してもらいましたね。

(石原)：そうですね。そのサミットの中で、西鳥取小学校、下荘小学校、舞小学校の子どもたちが、各校で取り組んでいるアマモ場の再生活動について発表しました。これがそのときの様子です。

画像5 アマモサミット

画像を見ながら

(森下)：全国から人が集まる中で発表するなんてすごいですね。
アマモサミットの後も、取組は続いているのですか。

(石原)：はい。アマモサミットで高まった地域の自然環境への関わりや保全意識というものをさらに高めていくために、これまで各学校がそれぞれに行ってきた海洋教育を今年度からは教育委員会が中心となって進めていくことになりました。

画像 5-2 アマモ水槽 に切り替える

画像 5-3 アマモ水槽展示

(石原)：この取組は、SDGsの17のゴールのうち
4番「質の高い教育をみんなに」、
14番「海の豊かさを守ろう」に該当します。

(石川)：今年度は、教育委員会を中心にどのような取組を行っているのですか。

(石原)：今年度から、日本財団や東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター、笹川平和財団海洋政策研究所が主催する「海洋教育パイオニアスクールプログラム」の地域展開部門を活用し、取組を進めています。
その取組の一つとして、「阪南市海洋教育推進協議会」を立ち上げました。

(森下)：協議会ではどのようなことが話し合われるのですか。

画像6 海洋教育推進協議会 開始

(石原)：この写真は、7月に行われた第1回協議会の様子です。協議会では、海洋教育における課題解決や新たなプログラム開発に関することなどについて協議を行うことにしています。また、協議会とは別に、企画運営部会を開催し、海洋教育の担当者の先生方と今年度の取組をどう進めていくかという具体的な話し合いも行っています。

画像6 海洋教育推進協議会 終了

(石川)：今年は、とても大きな場所で学校の海洋教育の取組を発表されたと聞きました。

(石原)：そうなんです。実は今年6月に行われたG20大阪サミットでの配偶者プログラムのなかで海洋教育の取組を行う3校の代表の子どもたちが、各国の配偶者の方々に学校の取組を紹介しました。

画像7 G20配偶者プログラム 開始

(石原)：この写真は、そのときの集合写真です。子どもたちにとっては一生の思い出に残る本当に貴重な体験になったと思います。

(森下)：G20のプログラムに参加できるなんて本当にすごいですね。阪南市の海洋教育の取組を世界の方々にも伝えられたんですね。

(石川)：写真に写っているブルーのボード、今なら、サラダホールで実物を見ることができんですよ。

「海を守り、環境を守る」各国からの参加者が、思いを込めて作成したメッセージを、ぜひご覧いただければと思います。

画像7 G20配偶者プログラム 終了

(森下)：未来につながるメッセージなのですね。

これからも、阪南市の海洋教育の取組について是非紹介していただければと思います。石原さん、最後にみなさんにお伝えいただくことはございませんか。

(石原)：はい。これから「海洋教育パイオニアスクールプログラム」を活用して、これまで行ってきた取組を継続、さらに発展していきたいと考えております。そして、その成果を地域へ発信することで環境保全の意識を市全体さらには他地域へと広げていきたいと考えています

(石川)：また、阪南TVでの海洋教育の紹介を楽しみにしています。

	<p>(森下)：学校教育課 石原さん、本日はどうもありがとうございました。</p> <p>(石原)：ありがとうございました。 <拍手> (全員で拍手します)</p>
--	--

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（観光編） 45秒」（添付）

(<https://www.youtube.com/watch?v=B6a76Dhpgsw>)

コーナー名		
<p>コーナー④<「秋祭り！やぐらパレードのご案内について」-約10分-></p>		
<p>12:38 出演) ・森下(司会) ・石川(ナビゲーター) ・紺谷 (まちの活力創造課) (準備するもの) ポスター パレードコースA3 机に貼る 机に表側A3サイズを貼る</p>	<p>(石川)：いよいよ阪南市の秋の恒例行事「やぐらパレード」が近づいてきました！まちの活力創造課から「秋祭り！やぐらパレードのご案内」です。</p> <p>(森下)：紺谷(こなたに)さん、よろしくお願いします。</p> <p>(紺谷)：よろしくお願いします。</p> <p style="text-align: center;"><拍手>(全員で拍手します)</p> <p>(石川)：紺谷さん、SDGs(エスディーゼズ)のゴールでいうと・・・？</p> <p>(紺谷)：はい。市内各地区のやぐらが集結するやぐらパレードは、 17番の「パートナーシップで目標を達成しよう」に当てはまります。</p>	<p style="text-align: center;">説明したいこと</p> <p>(森下)：お祭り好きな人は、きっとワクワクしていますね。 「阪南市やぐらパレード」の見どころを教えてください。</p> <p>画像1 やぐらパレード 適当に切り替える 画像2 パレードの様子</p> <p>(紺谷)：はい。阪南市やぐらパレードは、市内各地区のやぐらが一堂に市役所前に集結し、尾崎駅周辺をパレードするものです。開会セレモニーで、市役所前に、やぐらがずらりと1列に並ぶ姿は、勇壮で迫力満点です。夕暮れには、提灯に灯りがともされ、昼間とはひと味違った幻想的なやぐらを堪能できます。</p> <p style="text-align: center;">ここで少しやぐらパレードの映像を見ていただきたいと思います。</p> <p>映像1 阪南市やぐらパレード 市役所前(再生時間37秒)</p> <p>(森下)：すごい迫力、見ごたえ十分ですね。今年はいつ開催されますか。</p> <p>画像3 パレードコース(机の前のA3も活用可)</p> <p>(紺谷)：今年のやぐらパレードは、10月6日(日)に開催します。 午後4時に開会セレモニーが始まり、午後7時までパレードが行われます。 パレードコースは、チラシや市のウェブサイトで公開していますので、ぜひご覧ください。</p>

机に裏側 A3 サイ
ズを貼る

画像 4 交通規制 (机の前の A3 も活用可)

(森下) : パレードしている時間は、交通規制もされますか。

(紺谷) : はい。午後 3 時 30 分から午後 7 時の間、パレードコース周辺では交通規制が実施され、一部の車両を除き通行止となります。
また、市役所前からのコミュニティバスも午前中は運行していますが、午後からは運休となります。パレード終了後も運行いたしませんので、お気をつけください。

(森下) : バリアフリー観覧席もあるとお聞きしましたが。

(紺谷) : はい。高齢者や障がいのある方など、車いすを使用している方のために、市役所前に専用のバリアフリー観覧席を設けています。
ただし、席数など限りがございますので、先着順となります。
予めご了承ください。

(森下) : バリアフリー観覧席があると、安心ですね。阪南市のやぐらの特徴について教えてください。

(紺谷) : 泉州南部は、秋祭りで曳行する山車えいこうのことを「やぐら」と言います。
岸和田などで有名な「だんじり」は、小さな 4 つのコマですが、この「やぐら」は、大きなコマが 2 つあるのが特徴です。
コマが 2 つなので、自立はしませんが、舵が取りやすく、小回りが利くのが特徴です。

映像 2 疾走シーン (再生時間 11 秒)

(森下) : 「やぐら」と「だんじり」はコマの数に違いがあるんですね。
ちなみに、やぐらパレードが行われた 1 週間後に秋祭りがあるんですね。

画像 5 秋祭りポスター 適当に切り替える

画像 6 宮入

机にポスター貼る

ポスター 実物 映す

(紺谷) : はい。秋祭りは、毎年 10 月体育の日の前日と、体育の日の 2 日間行われます。今年は 10 月 13 日 (日)、14 日 (祝・月) となっています。
13 日には、波太神社で宮入が行われます (下荘地区の宮入は 14 日に菅原神社で行われます。)。見どころは、宮入の際、拝殿前の石階段を一気に駆け上がる「宮上がり」の豪快さです。是非一度ご観覧ください。

	<p>14日体育の日には、尾崎の海老野の浜で、神輿渡御が行われます。</p> <p>(石川)：迫力満点の「秋祭り」も必見です。 ぜひ、阪南市の「秋の魅力」を体験してみてください。お待ちしております。</p> <p>(森下)：まちの活力創造課 紺谷さんにお話を伺いました。 ありがとうございました。</p> <p>(紺谷)：ありがとうございました。 <拍手> (全員で拍手します)</p>
--	---

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（子育て編） 52秒」（添付）

(<https://www.youtube.com/watch?v=96FMXC-BmTo>)

コーナー名	
<p>ご案内コーナー</p> <p>12:51-13:00 -13:05</p> <p>出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森下 (司会) ・石川 (ナビゲーター) ・秋山会長 ・酒谷 (さかたに) 広報部長 (阪南市体育協会) ・上野 (生涯学習推進室) <p>準備するもの</p> <p style="background-color: #00ff00;">ポスター机に貼る</p> <p style="background-color: #00ff00;">パネル</p> <p style="background-color: #00ff00;">パネル</p>	<p><「9/23 (祝・月) スポーツフェスタ開催します！」-約9分-></p> <p><「第27回 KIX 泉州国際マラソン大会エントリー受付中」-約5分-></p> <p>(森下) : これから、スポーツにもってこいの季節です。 阪南市体育協会から、会長の秋山さんと広報部長の酒谷 (さかたに) さん、 そして、生涯学習推進室 上野さんにお越しいただいています。 よろしくお祈いします。</p> <p>(3人) : よろしくお祈いします。</p> <p style="text-align: center; background-color: #ffff00;"><拍 手> (全員で拍手します)</p> <p>(石川) : 毎年秋に開催する、市民の健康とスポーツの祭典「阪南スポーツフェスタ」。2月中旬に行われる「KIX 泉州国際マラソン」は、 <u>SDGsのゴール3「すべての人に健康と福祉を」、そして</u> <u>ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」</u>に該当します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">説明したいこと</p> <p>(森下) : 阪南市体育協会では、どんな活動をされていますか。</p> <p>(秋山) : はい。阪南市体育協会では、加盟する団体が、相互に緊密な連絡・協調することによって、市民の体力の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図っています。スポーツの振興や発展につながるよう、現在、22の団体で活動しています。 その具体的な活動としては、阪南市総合体育大会や阪南健康マラソンのほか、今回、ご紹介する「阪南スポーツフェスタ」があります。</p> <p>(森下) : どのような内容か、詳しく教えてください。</p> <p>(酒谷) : 今年の「阪南スポーツフェスタ」は、9月23日月曜日、秋分の日に開催します。時間は、朝9時~16時まで。 場所は、阪南市総合体育館と阪南市中央運動広場で行います。 スケジュールについては、このパネルをごらんください。</p> <p style="background-color: #00ff00;">パネル実物 を映しながら</p> <p>(酒谷) : <u>簡単にアドリブ</u>をお願いします。 当日、上履き、体育館シューズをお持ちください。 また、詳細については、広報はんなり9月号でご確認ください。</p> <p>(森下) : ありがとうございます。秋山会長、ひと言PRをお願いします。</p> </div>

(秋山)：アドリブでお願いします。

(森下)：たくさんの方にお越しいただけると、いいですね。ありがとうございます。

(石川)：続いてのご案内は、冬の風物詩「KIX 泉州国際マラソン大会」です。

(上野)：はい。今日は、第27回大会のご案内です。ポスターをご覧ください。

ポスターを映しながら

(上野)：開催日は2020年、令和2年の2月16日、日曜日となっています。
今年度の変更点は、ハーフマラソンがなくなり、20.4キロのチャレンジランになりました。
また、エントリーはインターネットのみの受付となっています。
スタートは、10時30分に堺市浜寺公園を出発。
フィニッシュ会場は、フルマラソンは「りんくう公園」、チャレンジランは「岸和田城」です。
募集人数は、フルマラソンは5,000名、チャレンジランは1,000名です。

ランナー受付は、9月9日から始まっており、締め切りは9月27日(金)の17:00まで。

現在、フルマラソンは約4,000名、チャレンジランについては約600名の申込み中となっています。

フルマラソンについては、定員を越えた場合は抽選、チャレンジランについては、先着順で定員に達した時点で締め切ります。

参加料は、フルマラソンが10,800円、チャレンジランが5,400円。
大会のパンフレットは、市役所2階生涯学習推進室、総合体育館、市内3か所の公民館等にて配布していますので、よろしくをお願いします。

大会に関するお問合せについては、一般社団法人KIX泉州ツーリズムビューロー、電話番号072-436-3440にお問い合わせください。

(森下)：「阪南スポーツフェスタ」は、スポーツを始めるきっかけが見つかるかも知れませんよ。興味のある方は、ぜひ総合体育館へ足を運んでくださいね。そして、「KIX 泉州国際マラソン大会」は、パンフレットやインターネットで、変更点などをしっかりチェックして、エントリーしてくださいね。

(森下)：阪南市体育協会の秋山会長、酒谷(さかたに)広報部長、そして、生涯学習推進室の上野さん、ご案内ありがとうございました。

KIX 泉州国際マラソン大会ポスター
机に貼る

	(3人)：ありがとうございました。 <拍手> (全員で拍手します)
--	-----------------------------------

CM 「阪南市シティプロモーションムービー（観光編） 45秒」（添付）

(<https://www.youtube.com/watch?v=B6a76Dhpcsw>)

コーナー名	
ご案内コーナー <「企業向け・阪南 SDGs 推進セミナーのご案内」 -約6分->	
<p>13:06-13:12 出演)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森下 (司会) ・石川 (ナビゲーター) ・東野 (行政経営室) 	<p>(森下) : 本日最後のご案内は、「行政経営室」の担当です。</p> <p>(石川) : 企業向けに SDGs 推進セミナーが、OSAKA愛鑑実行委員会さんとの共催で開催実施されるとのことですが、どんなセミナーなのでしょうか。</p> <p>(森下) : 総務部行政経営室 東野さん よろしくお願ひします。</p> <p>(東野) : よろしくお願ひします。</p> <p style="text-align: center; background-color: yellow;"><拍手> (全員で拍手します)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>説明したいこと</p> </div> <p>(森下) : 阪南 TV でも、市役所の様々な取組と SDGs のゴールとの関連性についてお知らせしているところですが、今回は企業を対象にしているのですね。</p> <p>(東野) : そうなんです。 市役所はもともと地域のために働く組織ですから、社会課題を解決するための目標である SDGs になじみやすいと感じています。 一方、企業は営利組織として、当然、「もうけ」を求めますから、社会課題の解決を目指す SDGs にどんな関わりがあるのか、不思議に思われる方もいらっしゃるかもしれませんね。</p> <p>(森下) : 確かに、一見関わりがないように思いますね。最近でてきた考え方なんですか？</p> <p>(東野) : 実は、そうではないんです。ところで、「三方よし」って聞かれたことはありますか？</p> <p>(石川) : 「三方よし」ですか。あまり聞きなれないですよ。古めかしい言葉のように感じますが。</p> <p>(東野) : この「三方よし」という言葉は、江戸時代から明治時代にかけて活躍した、近江商人の商売の極意なんです。 三方とは、売り手と、買い手と、世間つまり社会のことを言います。自分も「もうけ」て、「お客様も喜んで、社会にも役立つ、こういう商売が良い商売である」ということを示した言葉です。 例えば、阪南市のふるさと納税のお礼品で、森林から間引いた材木「間伐材」で作った糸を使ったスリッパがありますが、これも「三方よし」の商</p>

売と言えます。

(森下)：もう少し、具体的に教えてください。

(東野)：間伐材を活用しているという点で、環境問題の解決に取り組んでいる。つまり、「社会に役立っている」ことになります。売り手、買い手、社会、この三方にいい影響を与えていますよね。

(石川)：確かに、そうですね。環境問題の解決といえば、SDGs の 17 のゴールにも、環境についてのゴールがありますね。

(東野)：はい。15 番「陸の豊かさを守ろう」をはじめ、環境に関わるゴールは多いです。スリッパをこの製品にするだけで、日常生活の中での SDGs への取組がひとつ増えることになります。

(森下)：あ、なるほど。企業が SDGs に取り組むことで、日常生活のなかで、知らず知らずのうちに、いろいろな課題の解決に貢献できるようになるんですね。

(東野)：そうなんです。だから、企業のみなさんにも SDGs のことを知ってもらうことが大切だと、私たちは考えています。SDGs は連携して進めていくものですから、このセミナーで知り合った企業同士が手を結んで、新たなアプローチで SDGs を推進していただけるといいなあ、とも考えています。

(森下)：そうなるといいですね。では、セミナーの開催日時と場所を教えてください。

画像 1 セミナーチラシ

画像を見ながら

(東野)：10月17日木曜日、阪南市防災コミュニティセンター「阪南まもる館」にて、13時受付開始です。セミナーの中身など詳しい内容は、「阪南市 企業向けセミナー」で検索してください。企業のみなさんのご参加をお待ちしています。

(森下)：最後に、このセミナーが関わる SDGs のゴールは。

(東野)：もちろん、17番「パートナーシップで目的を達成しよう」です。

(森下)：SDGs に積極的に取り組んでいる企業も増えていますので、企業のみなさん、

ぜひご参加ください。
行政経営室 東野さん、ありがとうございました。

(東野)：ありがとうございました。

(石川)：次回の放送は 10月15日(火)正午 の予定です。

<まとめ>

(森下)：今流れている番組は放送終了後もアーカイブとしてご覧いただけます。
本日も長時間視聴いただきありがとうございました。
それでは みなさん さよーならー